

発行所(郵便番号100)
 東京都千代田区丸の内2-4-1
 丸の内ビルディング781号室
 社団法人スウェーデン社会研究所
 Tel (212) 4007・1447
 編集責任者 中嶋 博
 印刷所 関東図書株式会社
 定価200円(年間購読料2千円)
 1987年9月25日発行
 第19巻 第9号
 (毎月1回25日発行)
 昭和44年12月23日第3種郵便物認可

スウェーデン社会研究月報

Bulletin Vol. 19 No. 9

Japanska Institutet För Svensk Samhällsforskning
 (The Japanese Institute for Social Studies on Sweden)
 Marunouchi-Bldg., No.781, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan.

国際的視野の広さ

Policy-making with World-wide Concern

日本学術振興会 理事長 木田 宏
 Dr. Hiroshi Kida

ユネスコ関係の会議に出席していて、いつも強く印象付けられることは、開発途上国の人の発言の中に、スウェーデンを名指しで感謝する事例が少なくないことである。

それらの発言に依って、スウェーデンが、任意拠出の援助事業や二国間援助に依って、資金援助、あるいは、専門家の派遣を行い、国際協力の成果を挙げていることを知ることができる。

スウェーデンのGNPは、わが国の十分の一程度でしかない。しかし、第三世界に対する政府開発援助(ODA)は、十年前からGNPの1%に達しており、比率にしてわが国の三倍、金額にして、ほぼ三分の一になっている。また、政府援助以外に民間団体(NGO)の援助も多く、金額でわが国の二倍以上に昇っている。

スウェーデンが、内政の面においても、社会保障に教育に積極的な施策を講じていることは、言うまでもない。

十五世紀に創設されたウプサラ大学のように格式の高い大学を擁しながら、「国民に開かれた大学」への改革を進め、高校二年終了の能力で誰でも大学に入学出来るようになった。大学生が二十万人というのは、わが国の十分の一ではあるが、人口がわが国の十五分の一であるから、大変な高等教育の普及度である。

早くも十年前に、二十五才以上の有職者や家庭婦人に五割の入学枠を設けたところから、在籍者の平均年齢は急速に高まり、大学は成人教育の場、

生涯学習の機関に性格を変えようとしている。然も授業料は無償というのであるから、大変な福祉政策であり、文化政策である。

なぜ、内外共にこのような伸び伸びとした思い切った政策が採れるのか。それは、難しい国際政局の中で、過去百七十年間自国の平和を維持し、民生の発展を企図してきた指導者の世界を見る目の広さにあると思うのである。

コンゴで殉職した国連のハマーション・ホルド事務局長、国内で凶弾に倒れたパルメ首相の世界の歴史に残した業績。今世紀以来、ノーベル賞を授与して世界の学術水準の向上に寄与してきた王立科学学士院などの業績。これらを考えるだけでも、如何に指導者の視野が広いか窺える。

われわれもまた、国際的に広い視野を持って、諸国民の民生安定と教育文化の普及向上に、思い切った施策を進めるべきであろう。

目次

国際的視野の広さ	木田 宏	1
小野寺信顧問のご逝去を悼む		2
スウェーデンの視点から見た平和運動 (ダンナール・ラッシナンティ博士)		
山西優二訳		2
(ニュース) 研究所設立20周年 記念パーティー		4
SIPニュース		5